

北秋田市し尿処理施設
長期包括的運轉管理業務委託

審査講評

令和元年 11 月

北秋田市し尿処理施設
長期包括的運轉管理業務委託
事業者選定審査委員会

北秋田市では、北秋田市し尿処理施設長期包括的運転管理業務委託（以下「本業務」という。）において、総合評価一般競争入札による事業者の選定を公平かつ適正に実施するため、北秋田市し尿処理施設長期包括的運転管理業務委託事業者選定審査委員会（以下「事業者選定審査委員会」という。）を設置しました。

事業者選定審査委員会は、令和元年5月に第1回を開催し、以降計4回の実業者選定審査委員会において落札者決定基準等について審議を重ねるとともに、本業務の公告に基づき、入札説明書に定める資格を有する入札参加者からの提案内容について厳正かつ公正な審査を行い、総合評価点が最も高い提案を行ったもの（以下「最優秀提案者」という。）を選定しました。

本審査講評は、事業者選定審査委員会におけるこれまでの審議や審査の過程と審査の結果について報告します。

令和元年11月11日

北秋田市し尿処理施設長期包括的運転管理業務委託
事業者選定審査委員会

委員長	濱田 雅巳
委員	増田 周平
委員	虻川 広見
委員	佐藤 進
委員	浅村 武則

北秋田市し尿処理施設長期包括的運転管理業務委託

審査講評

<目 次>

1. 事業の概要.....	1
1.1 事業名	1
1.2 事業実施場所	1
1.3 事業概要.....	1
1.4 事業範囲.....	1
1.5 事業期間.....	1
1.6 対象施設.....	1
2. 事業者の審査及び選定方法.....	3
2.1 審査及び落札者決定までの流れ	3
2.2 事業者選定委員	4
2.3 資格審査.....	4
2.4 基礎審査.....	4
2.5 非価格要素審査.....	4
2.6 価格要素審査	7
2.7 総合評価点の算定方法.....	7
3. 落札者決定までの経緯.....	8
4. 審査結果の概要.....	9
4.1 資格審査.....	9
4.2 基礎審査.....	9
4.3 技術提案書のプレゼンテーション及びヒアリング.....	9
4.4 非価格要素審査.....	9
4.5 価格要素審査	13

4.6 総合評価点の算出	13
5. 総評.....	14

1. 事業の概要

1.1 事業名

北秋田市し尿処理施設長期包括的運転管理業務委託

1.2 事業実施場所

北秋田市し尿処理施設

(北秋田市鷹巣字小沼 15,16)

1.3 事業概要

本業務は、市より搬入されるし尿等を集積し、下水道排除基準まで希釈して下水道終末処理施設（以下、「鷹巣浄化センター」という。）へ投入するため、市が所有する本施設の運転管理、補修を含めた包括的な運転管理を事業期間にわたって実施するものである。

事業者は、本施設の基本的性能を常時適切に発揮させ、搬入されるし尿等を効率的かつ適正（経済的、衛生的かつ安全）に処理するとともに、事業者の提案による創意工夫のもと、サービスの水準を確保しつつ効率的かつ施設の長寿命化に配慮した運転管理を行うものとする。

1.4 事業範囲

事業者が行う業務の範囲は、受入管理業務、運転管理業務、用役管理業務、維持管理業務、環境管理業務、情報管理業務、その他関連業務である。

1.5 事業期間

事業期間：契約締結日の翌日から令和 12（2030）年 3 月 31 日

準備期間：契約締結日の翌日から令和 2（2020）年 3 月 31 日

運営期間：令和 2（2020）年 4 月 1 日から令和 12（2030）年 3 月 31 日（10 年間）

1.6 対象施設

本業務の対象施設はし尿処理施設で、対象施設の概要は次のとおりである。

表 1 対象施設の概要

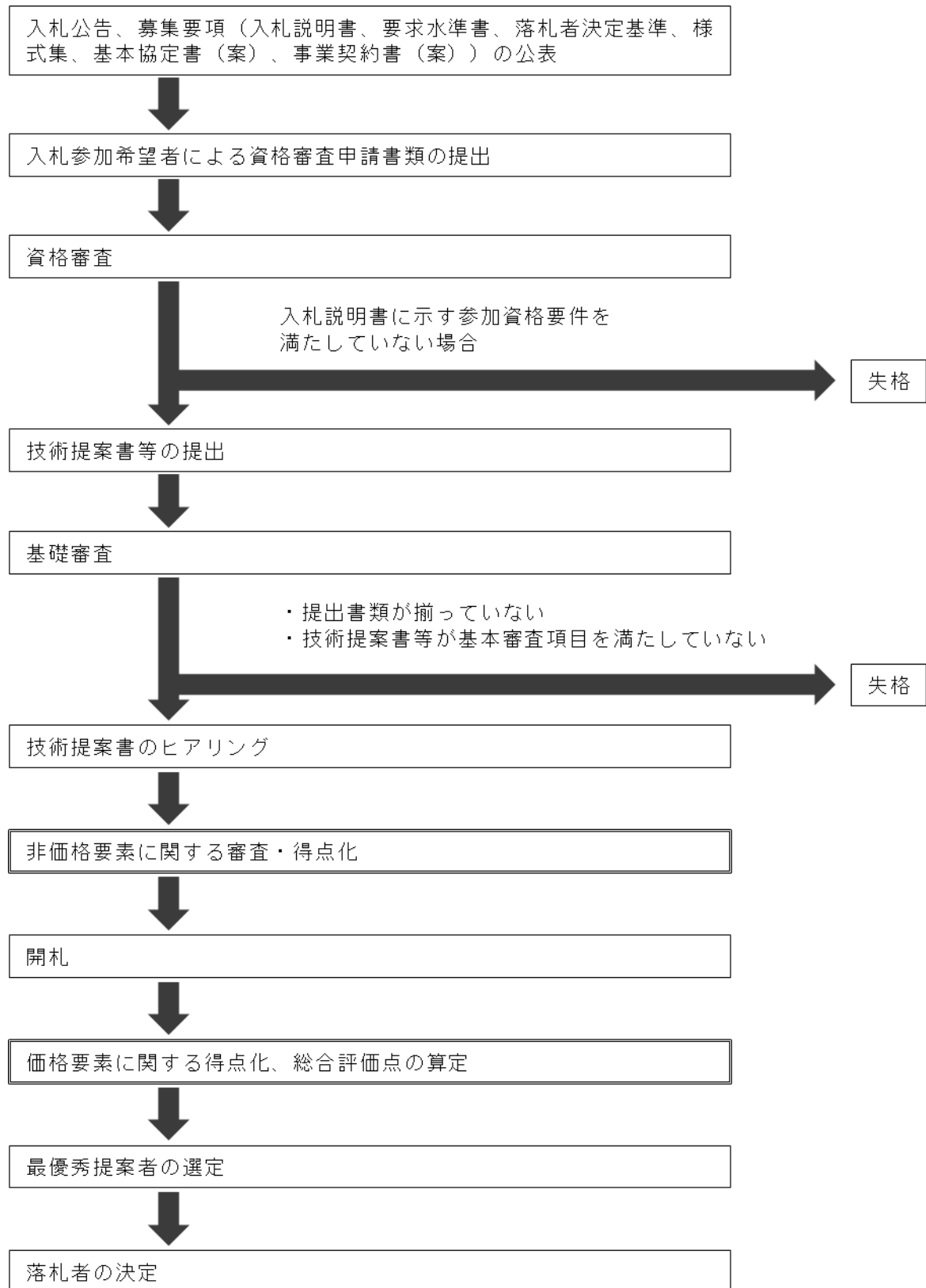
項目		内容
名称		北秋田市し尿処理施設
所在地		北秋田市鷹巣字小沼 15,16
用途		し尿処理施設（一般廃棄物処理施設）
構造	処理棟	鉄筋コンクリート（地下 1 階、地上 2 階）
	車庫棟	鉄骨造
処理設備		受入・貯留設備（受入設備・夾雑物除去設備・貯留設備）
		主処理設備（希釈水調整槽・希釈水移送設備）
		放流設備
		脱臭設備
		取排水設備（取水設備、生活用水設備）
処理方式	水処理方式	前処理+希釈放流方式（下水道放流）
	資源化方式	なし
処理規模	計画処理量	46m ³ /日
	内 し尿	22m ³ /日
	内 浄化槽汚泥	24m ³ /日
希釈水	希釈水量	966m ³ /日（最大 22 倍希釈）
放流水	放流水量	1,012m ³ /日（最大）
	放流水質	下水道排除基準以下
使用開始年月		令和 2（2020）年 4 月 1 日（予定）
受入時間		8：30～16：00 土、日、祝日及び年末年始の搬入はなし。
運転時間		受入・貯留設備：5 時間/日、その他設備：24 時間/日

※受入・貯留設備の運転時間は、夾雑物除去装置等の運転時間であり、受入時間とは異なる。

2. 事業者の審査及び選定方法

2.1 審査及び落札者決定までの流れ

本業務の事業者選定方式は、価格面のみならず事業提案の内容も含めた総合評価一般競争入札を採用し、下記手順にて実施した。



2.2 事業者選定委員

北秋田市は、事業者の選定を専門的知見に基づいて実施するため、事業者選定審査委員会を設置する。事業者選定審査委員会の構成は次のとおりとする。

【事業者選定審査委員会（敬称略）】

区分	氏名	所属・役職等
委員長	濱田 雅巳	公益社団法人 全国都市清掃会議 技術部長
委員	増田 周平	独立行政法人 国立高等専門学校機構 秋田工業高等専門学校 准教授
委員	虻川 広見	北秋田市副市長
委員	佐藤 進	北秋田市財務部長
委員	浅村 武則	北秋田市建設部長

2.3 資格審査

北秋田市は、入札参加希望者から提出された参加表明書及び資格審査申請書類について、入札説明書に記載した入札参加希望者の参加資格要件の有無を確認し、確認の結果をすべての入札参加希望者に対し通知した。なお、参加資格要件を満たしていることが確認できない場合は失格とした。

2.4 基礎審査

技術提案書について、基礎審査項目の内容を満たしていることを確認する。基礎審査項目について1項目でも満たさないことが確認された場合は失格とした。

(1) 提出書類の確認

提出書類がすべて揃っていること。

(2) 技術提案書の基礎審査

- 1) 技術提案書の内容が要求水準書に示す要求水準を満たしていること。
- 2) 入札説明書及び様式集に示す技術提案書の作成に関する条件等に違反のないこと。
- 3) 技術提案書全体について、同一事項に対する2通り以上の提案または提案事項間の齟齬、矛盾等がないこと。

2.5 非価格要素審査

定量化審査による得点が総合評価点となるため、その配点及び得点化基準については、事業期間にわたって各施設を安全・安心かつ環境及び経費の効率化に配慮した運転管理を行うことの必要性及び重要性を勘案し、本業務に対する入札参加者が有すべき技術力及び創意工夫を期待する度合いにより設定した。従って、審査項目は、市が入札参加者の提案に期待している事項であり、配点はその重みを示すものである。

審査項目及び配点については、次のとおりである。

【審査項目の採点基準及び得点化方法】

評価	判断基準	得点化方法
A	当該評価項目において、特に優れている	配点×1.0
B	AとCの中間程度	配点×0.75
C	当該評価項目において、優れている	配点×0.5
D	CとEの中間程度	配点×0.25
E	当該評価項目において、要求水準書程度である	配点×0.0

【非価格要素評価項目の配点及び審査基準】

項目	配点	審査基準
運転管理体制 (12点)	全体組織計画	3 ・本施設の組織体制として必要かつ十分な人員が配置されているか。 ・本業務に類似した実績を有しているか。 ・本業務に必要な専門技術者として、必要な資格を有し十分な経験を有する者を配置しているか。
	警備・防災管理体制	3 ・あらゆる事態（夜間対応含む）が想定され、それらの事象が発現した際にも適切な対応が行える内容となっているか。
	財務的な安定性	3 ・経営計画及び事業収支計画の考え方が的確であるか。 ・事業期間にわたって安定した事業の継続、効率性の実現が可能な計画となっているか。
	リスクへの対応能力	3 ・本業務の実施におけるリスク管理方針について、実効性の高い、的確な内容となっているか。 ・リスク顕在化確率の極小化、リスク顕在化時の影響の極小化を考慮した的確なリスク管理体制となっているか。 ・BCP（業務継続計画）の考え方及びBCP計画作成方針について、実効性の高い、的確な内容となっているか。
受入管理業務 及び運転管理 業務 (13点)	受入管理方法及び運転管理方法	4 ・搬入されるし尿等の受付、案内、指示等が適切に行える内容となっているか。 ・施設の内容を十分理解し、適切な運転計画のもとに適正な運転管理がなされる内容となっているか。 ・放流時間の調整や、し渣の運搬等について適切に行える内容となっているか。
	変動への対応策	5 ・搬入されるし尿等の性状や量の変動に対する適切な対策が十分に検討され、運転管理上で有益な提案がなされているか。 ・放流先となる下水道終末処理施設への負荷に配慮し、適切な運転指標と操作方法が具体的に提案されているか。
	その他	4 ・その他、効率性や安全に配慮がされた提案がされているか。

項目		配点	審査基準
用役管理業務 (3点)	用役利用計画	3	・用役等の調達方針及び用役利用計画が、通常時及び緊急時にも適切に施設が稼働できるよう適正な内容となっているか。
維持管理業務 (5点)	基本性能の確保及び点検検査計画等	5	・施設の長寿命化に配慮され、基本性能を事業期間にわたって維持するための考え方が適切であるか。 ・点検検査計画及び維持補修計画の内容が必要かつ十分なものとなっているか。
環境管理業務 (7点)	環境管理計画	5	・悪臭等の公害防止基準を遵守し、周辺環境への影響を最小限に抑える環境保全基準が適切であり、運転管理上で有益な提案がなされているか。 ・作業員の労働安全衛生に十分配慮した作業環境管理基準となっているか。
	その他	2	・その他、周辺環境への配慮がされた提案がされているか。
情報管理業務 (2点)	施設情報管理	2	・各種報告書作成の考え方、施設情報管理の管理運用が適切であるか。
その他関連業務 (8点)	市民への対応	4	・施設見学者対応や住民からの質問や苦情への対応について、適切な内容となっているか。
	地域への貢献	4	・市内雇用、市内企業及び市内産材を積極的に活用している提案となっているか。 ・その他、地域貢献に配慮がされた提案がされているか。

※入札参加者の独自のノウハウや創意工夫による提案がある場合に優位に評価する

2.6 価格要素審査

入札価格（入札書の金額）について、次の算定式により得点を付与した。なお、得点は少数第3位を四捨五入した値とした。

なお、価格提案に関する得点化にあたっては、定量化限度額は設定しない。

$$\left(\begin{array}{c} \text{当該入札参加者の} \\ \text{価格提案に関する得点} \end{array} \right) = 50 \text{点} \times \frac{\text{最低入札価格}}{\text{当該入札参加者の入札価格}}$$

2.7 総合評価点の算定方法

「2.5 非価格要素審査」、「2.6 価格要素審査」により算出した各入札参加者の得点から、次に示す算定式により各入札参加者の総合評価点を算出した。

$$\left(\begin{array}{c} \text{当該入札参加者の} \\ \text{総合評価点} \end{array} \right) = \left(\begin{array}{c} \text{当該入札参加者の} \\ \text{非価格要素に関する得点} \end{array} \right) + \left(\begin{array}{c} \text{当該入札参加者の} \\ \text{価格要素に関する得点} \end{array} \right)$$

※総合評価点は100点を満点とし、非価格要素に関する得点と価格要素に関する特定の比率は、50：50とする。

3. 落札者決定までの経緯

落札者決定までの経緯は、次のとおりである。

募集及び選定スケジュール

項目	日程
(1) 入札公告	令和元年 7 月 11 日
(2) 募集要項の公表 (要求水準書、入札説明書等)	令和元年 7 月 11 日
(3) 募集要項質疑受付締切	令和元年 7 月 25 日
(4) 募集要項質疑回答	令和元年 8 月 8 日
(5) 参考資料の閲覧	令和元年 8 月 9 日~8 月 16 日
(6) 資格審査書類提出締切	令和元年 8 月 20 日
(7) 資格審査結果通知	令和元年 8 月 30 日
(8) 提案書提出・入札書提出締切	令和元年 9 月 12 日
(9) 提案内容の基礎審査	令和元年 9 月 27 日
(10) 提案内容に対する質疑通知	令和元年 10 月 11 日
(11) 提案内容に対する質疑回答	令和元年 10 月 18 日
(12) 事業提案書に関するヒアリング	令和元年 10 月 29 日
(13) 開札、総合評価、最優秀提案者の決定	令和元年 10 月 29 日

4. 審査結果の概要

4.1 資格審査

北秋田市は、入札参加を希望する2者から参加資格申請書を受領し、入札説明書に示す参加資格要件を有しているか否かについて確認を行ったところ、2者ともに参加資格を有していることを確認した。入札参加を希望した2者に対して、参加資格と入札参加者番号をあわせて通知した。

4.2 基礎審査

入札参加者から提出された入札提案書類の記載の内容が、入札説明書及び要求水準書に示す最低限の要件を満たしているか否かを審査した。その結果、2者の入札参加希望者ともに、提出された入札提案書は、基礎審査に合格しているものと認められた。

4.3 技術提案書のプレゼンテーション及びヒアリング

事業者選定審査委員会において、技術提案書を審査及び評価するにあたり、入札参加者による技術提案に関するプレゼンテーションを実施し、委員から事業者へヒアリングを行った。

【プレゼンテーション及びヒアリング】

開催日：令和元年10月29日（火）

会場：北秋田市役所本庁舎3階 大会議室

実施時間：入札参加者につき、50分（内訳プレゼンテーション15分、ヒアリング35分）

4.4 非価格要素審査

提出された入札提案書類の内容、技術提案に関するプレゼンテーション及びヒアリング結果を基に、公平かつ厳正なる審査を経て非価格要素の評価を行った。なお、審査に際して、入札参加者の企業名は伏せ、資格審査通知時に示した入札参加者番号が記載された資料に基づき審査することで、入札参加者の匿名性を確保し、公平性に配慮した。

【非価格要素審査結果一覧】

※非価格要素に関する得点は、委員の評価点の平均値（少数第3位を四捨五入）である。

項目		配点	入札参加者番号 第2番	入札参加者番号 第3番
運転管理体制	全体組織計画	3	1.80	2.10
	警備・防災管理体制	3	1.80	2.10
	財務的な安定性	3	2.25	1.80
	リスクへの対応能力	3	1.95	2.10
受入管理業務	受入管理方法及び運 転管理方法	4	2.40	2.80
	変動への対応策	5	3.00	3.50
	その他	4	2.00	2.20
用役管理業務	用役利用計画	3	1.95	1.95
維持管理業務	基本性能の確保及び 点検検査計画等	5	3.00	3.25
環境管理業務	環境管理計画	5	3.00	3.75
	その他	2	1.10	1.40
情報管理業務	施設情報管理	2	1.20	1.10
その他関連業務	市民への対応	4	2.10	2.25
	地域への貢献	4	4.00	2.75
合 計		50	31.55	33.05

【非価格要素審査の講評】

(表中の【2】は入札参加者番号【第2番】、【3】は入札参加者番号【第3番】を意味する)

項目		講評
運転管理体制	全体組織計画	<ul style="list-style-type: none"> ・2者ともに、必要かつ十分な経験及び資格を有した技術者を配置し、状況に応じたバックアップ体制について提案するなど、適切な全体組織計画が提示されていた。 ・【3】は、休暇等におけるバックアップ体制について提案している点を評価した。
	警備・防災管理体制	<ul style="list-style-type: none"> ・2者ともに、必要な警備・防災管理体制が提示されていた。 ・【3】は、二重の連絡体制構築や1時間以内の召集可能な体制など確実に迅速な緊急時対応を提案している点を評価した。
	財務的な安定性	<ul style="list-style-type: none"> ・【2】は、内部留保にウエイトを置いた運営方針が提案されている点を評価した。
	リスクへの対応能力	<ul style="list-style-type: none"> ・【2】は、リスクのポートフォリオ分析を行って保険等によりリスクヘッジする提案となっている点を評価した。 ・【3】は、具体的に突発的な事象を想定しグループ企業による対応を提案している点を特に評価した。
受入管理業務	受入管理方法及び運転管理方法	<ul style="list-style-type: none"> ・2者ともに、運転管理基準値を設定して運転管理を行うものとしている。 ・【2】は、放流水質や希釈倍率を確認するため、自主的な簡易水質分析を行うよう提案している点を評価した。 ・【3】は、し尿等の性状などに応じて年一回評価を行い、運転管理基準値の最適化を行う点を特に評価した。
	変動への対応策	<ul style="list-style-type: none"> ・2者ともに、し尿等の性状変動を平準化するため、受入槽等水槽の水位を高く維持する運転管理を提案している点を評価した。 ・【3】は、下水処理場における負荷変動を抑制するための放流時間調整を提案している点を評価した。
	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・【3】は、設定値の明確化による希釈水及び放流量の低減を提案している点を評価した。
用役管理業務	用役利用計画	<ul style="list-style-type: none"> ・2者ともに、緊急時の対応も含め適切な用役等の調達方針、調達方法及び管理計画を提案している点を評価した。
維持管理業務	基本性能の確保及び点検検査計画等	<ul style="list-style-type: none"> ・【3】は、定期的に設備機器リスク評価を行い、予防保全に重点を置いた保守点検を提案している点を評価した。
環境管理業務	環境管理計画	<ul style="list-style-type: none"> ・2者ともに、自主的な測定による環境管理を提案している点を評価した。 ・【3】は、pHとMLSSのポータブル測定器を導入することによ

		る据付分析計の指示値の信頼性確保を提案している点を評価した。
	その他	・【3】は、場内に入出入りする車両に対するアイドリングストップ推進を提案している点を評価した。
情報管理 業務	施設情報管理	・2者ともに、クラウドサービスを利用した情報管理を提案している点を評価した。
その他 関連業務	市民への対応	・2者ともに、施設見学者や住民への対応について、適切な内容の提案がなされていた。 ・【3】は、見学者対応の向上に向け、施設見学者へのアンケートの実施を提案している点を評価した。
	地域への貢献	・2者ともに地域経済及び地域住民への配慮が十分になされ、市内雇用、市内企業を積極的に活用する提案がなされていた。 ・特に【2】では具体的な発注予定額の提案がなされていた点を高く評価した。

4.5 価格要素審査

入札書により予定価格を確認したところ、入札参加者番号【第3番】は予定価格を超過しており、入札参加者番号【第2番】は予定価格内であったことから、入札参加者番号【第2番】について価格要素審査を行った。審査結果は、次に示すとおりである。

【価格審査結果一覧】

項目	入札参加者	
	【第2番】	【第3番】
予定価格	604,000,000 円	
	(消費税及び地方消費税を含まない)	
入札価格	590,000,000 円	予定価格超過による失格
	(消費税及び地方消費税を含まない)	
価格要素点 (配点 50 点)	50.00 点	0 点

4.6 総合評価点の算出

入札参加者番号【第3番】は予定価格を超過しており、価格要素審査については失格となった。落札者決定基準に従い、入札参加者番号【第2番】の総合評価点(=非価格要素点+価格要素点)を求め、入札参加者番号【第2番】を最優秀提案者として選定した。

【総合評価点の算出結果】

項目	入札参加者	
	【第2番】	【第3番】
非価格要素点 (配点 50 点)	31.55 点	33.05 点
価格要素点 (配点 50 点)	50.00 点	0 点 (予定価格超過による失格)
総合評価点 (配点 100 点)	81.55 点	33.05 点

【最優秀提案者】

入札参加者番号	【第2番】
代表企業	テスコ株式会社
構成企業	株式会社能代タイセイ

5. 総評

本業務は、北秋田市、上小阿仁村より搬入されるし尿等の処理を行うため、北秋田市が所有する北秋田市し尿処理施設の運転管理、補修及び更新を含めた包括的な運転管理を事業期間にわたって実施する事業である。

本施設の基本性能を常時適切に発揮させ、搬入されるし尿等を適正（安定的、経済的、衛生的かつ安全）に処理するとともに、入札参加者の提案による創意工夫のもと、サービスの水準を確保しつつ効率的かつ施設の長寿命化に配慮した運転管理を行うことを目的としたものである。

本業務では、2者からの応募を受け、提案内容の審査を行ったところ、いずれの提案も本業務の事業目的を理解し、要求水準を上回るものであるとともに、民間事業者の創意工夫やノウハウが盛り込まれたものであった。なお、提案書の作成にあたっては、要求内容が多岐にわたり、多大な労力と費用負担が必要であったと推察されるなか、短期間で提案書等を取りまとめた両入札参加者の熱意と技術力に敬意を表し、深く感謝する。

事業者選定審査委員会において、厳正なる審査の結果、入札参加者番号【第2番】テスコグループを最優秀提案者として選定した。

今後、北秋田市と入札参加者番号【第2番】テスコグループが良好なパートナーシップを構築し、循環型社会形成に向けて公共事業の一環として事業目的に沿った安心・安全なし尿処理が着実に行われるよう、次の点に留意して本事業を遂行されるよう要望する。

【要望事項】

- 1) 要求水準事項及び提案内容を確実に履行し、北秋田市及び上小阿仁村から搬入されるし尿等をさらなる効率的かつ適正（安定的、経済的、衛生的かつ安全）に処理に努めること。
- 2) 公害防止基準を遵守するだけでなく、環境保全基準を適切に設定して周辺環境への影響を最小限に抑えるとともに、適切な作業環境管理基準に基づき作業員の労働安全衛生に十分配慮すること。
- 3) 搬入されるし尿等の性状や量の変動に対する適切な対策を講じるとともに、放流先となる下水道終末処理施設への負荷に配慮し、適切な運転指標と操作方法に基づいた運転管理を行うこと。
- 4) 供用開始時点から、適切な運転管理基準値の設定をするため、事業準備期間において搬入し尿等の事前分析を行うなど、正確な性状の把握や希釈倍率の設定に努めること。
- 5) 緊急時の連絡体制やバックアップ体制を含む適切な業務実施体制を構築すること。
- 6) 地域経済及び地域振興の貢献については、提案内容を確実に履行するとともに、積極的な地元企業の活用や住民雇用を行い、より一層の拡大を図ること。
- 7) 施設見学者や住民からの質問や苦情に誠実に対応し、地域貢献活動を積極的に実施するなど、地域住民に親しまれる施設運営を行うこと。
- 8) 行政情報や個人情報を取り扱うことに十分に留意し、クラウドシステムによる情報管理を実施する際には、北秋田市へ十分に説明をするとともに、情報セキュリティに万全を期すこと。

以上